

# ポケットシェルターの主要な特徴について

## ポケットシェルター株式会社

### 1. スマホアプリ最大数の避難関連施設情報

ポケットシェルター（ポケットシェルター株式会社提供のスマホ用防災アプリ）には、独自基準及び調査に基づく耐震構造物と自治体の定める全国避難関連施設情報（避難場所、避難所、給水拠点などの所在地の標高を含む情報）とが統合して表示されるようになっており、現時点で約18万件の施設情報が掲載されています。（2017年2月26日現在当社調べ）。



### 2. 緊急地震速報に連動した音声表示とスクリーンによる避難誘導開始

ポケットシェルターにおいては、緊急地震速報に連動して自動的に音声及びテキスト表示と避難関連施設等が表示された周辺地図が表示されます。

（iOS版はプッシュメッセージを1プッシュが必要<sup>1</sup>）

<sup>1</sup> Apple社のiOSではセキュリティ対策のためにアプリの自動起動は出来ない仕組みになっています。

緊急地震速報受信時に、GPS 信号により把握された現在位置周辺に耐震構造物<sup>2</sup>がある場合には、その旨を表示し、そうでない場合には周辺の避難関連施設を地図上に示します。（ユーザが耐震構造物内にいる場合には、震災時すぐに移動避難する必要がない場合もあることを考慮しました。）

ユーザは、その内容に基づいてどの避難関連施設に移動するかを決定し、選択された避難関連施設への避難経路を表示しナビゲートします。

### 3. 防災アプリ初！移動履歴の足跡表示

移動経路をこの地図上に足跡の形で表示することができるので、平常時も避難時にも過去の移動を確認でき、進行方向の確認や進路の参考になります。

表示のオンオフは、地図画面右にある足あとマークを押すことにより切り替わります。



### 4. 通信機能が使えなくても利用できる地図（プレミアム版限定機能）

ポケットシェルターには、オフライン（圏外）でも利用できる地図を予め保存することが出来ます。これは、日本全体で実際にその場所に移動する前にダウンロードす

---

<sup>2</sup> このアプリでは選定耐震構造物として、弊社の独自基準に基づき人が多く集まると考えられるものをアイコンで表示しています。

ることが出来ます。ダウンロードしておく、避難関連施設はもちろん、平常時に使えるコンビニや飲食、ATM 情報もオフライン時見ることが出来ます。オフライン地図利用の場合には、データ通信料は発生しません。



## 5. 安否確認に有用な情報を自動送信（プレミアム版限定機能）

災害発生時、被災状況によっては長時間連絡が取れなくなる可能性があります。まず、震央部付近にいた人が保有する携帯端末を検出し、事前登録されたメールアドレスに、震災の被害を受けた可能性がある旨のメール（第一報）を送信します。その後、この端末の移動を通信回線経由で検出し、先のアドレスに移動があった旨を連絡します。一方、移動が検出されない場合には、5時間おきに最大震災発生から約100時間まで、移動が確認されない旨のメールを送り続け、安否確認に有用な情報を自動送信します。

携帯端末の位置は、定期的にサーバに報告される情報を利用しているため、被災地の基地局が倒壊して通信不能の状態でも、上記した第一報（携帯端末が震央部付近にいた旨のメール）は送信されます<sup>3</sup>。

<sup>3</sup> 携帯端末の位置情報送信については、設定画面にて有効/無効と切り替えることが出来ます。設定が送信無効の場合には、この機能は正確には動作しません。

なお、プライバシーを重視される方には、メールに現在地の緯度経度の表示をしないという選択ができるよう配慮がされております。



## 6. 防災アプリ初のプレゼント機能

プレミアム版のご利用には、月額300円のお支払が必要になりますが、自分の親、子供、親戚、恋人、友達などに代わって支払いをするプレゼント機能が搭載されています。

このアプリをあなたの大切な人にプレゼントし、スマホにインストールしてもらい、あなたの大切な人を守りませんか？